

令和5年度 浜松市国語科研究部3ブロック（5・8部会） 第1回 研修会報告

1 日時 令和5年5月24日（水） 15:00～16:30

2 場所 浜松市立北浜東部中学校

3 内容

(1)顧問校長挨拶 熊小学校長 二橋 宏之 先生

(2)研究テーマの確認 3ブロック副部長

「言葉の力」を育てる魅力的な単元の創造

研修計画の確認

<第1回> 5月24日（水）北浜東部中学校（本日）

<第2回> 8月1日（火）浜松市産業展示館

<第3回> 10月25日（水）浜松市立浜北北部中学校

(3)グループ協議

(4)連絡事項

(5)顧問校長挨拶 光明小学校長 中野 主税 先生

〈グループ協議〉（学年ごとのグループに分かれて）

【単元の中に、子供たちが主体的に学びを調整できる場面を設定すること】という視点を踏まえた授業とはどのようなものか。

○つきたい力(目標)を明確にし、振り返りや学び合いを通して自己の変容に気付く。

振り返りの工夫

- ・「何がわかって」「次はどうするのか」を顔マーク等で視覚化する。
- ・自分の理解が不足していることを明確にし、学び直す機会を与える。

学び合い活動の工夫

- ・話し合いや意見交換を通して、多様な考えに触れることで、自身の考えを発展させたり修正したりする。

学び方の選択

- ・単元の中で、自身の理解度や必要に応じて、適切な方法を選択して学ぶ。（クロムブックの利用、辞書の活用、話し合い方法の工夫など）

○1学期中に取り組みたいこと

小学校

- ・「おおきなかぶ」で、音読や劇などの方法を生徒自身に選ばせて表現させる。
- ・「新聞づくり」でレイアウトについて友人同士で推敲し合ったり、必要に応じてクロムブックを用いたりしていく。

中学校

- ・「プレゼンテーションをつくる」で、より伝わりやすい内容や方法について話し合い、修正していく。また、画用紙や紙に書くのか、クロムブックのスライド等を使うのかなど、自身の思い描くプレゼンを実現するための方法を選択する。



〈研修会を振り返って〉

顧問校長挨拶の中で、市教研の場は我々教員が考えを深めたり学び直しをしたりすることができる貴重な場であることやそのような意見交換や話し合いを行うことこそが、教員としての学びを調整できる場であるということをお話いただいた。グループ協議では、「学びの調整」とはどのようなことを指すのかということについて話し合われた。振り返りや学び方の選択など、様々な意見が出たので、参加者でしっかりと共有してこれからの授業に生かすようにしていきたい。1学期のうちに実践を重ね、第2回の研修会では、さらに深まった協議が行われることを期待したい。